

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)

【公表番号】特表 2011-518287 (P2011-518287A)
 【公表日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-025
 【出願番号】特願 2011-505556 (P2011-505556)
 【国際特許分類】

F 0 3 D 11/00 (2006.01)

F 0 3 B 7/00 (2006.01)

【F I】

F 0 3 D 11/00 A

F 0 3 B 7/00

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 26 年 4 月 7 日 (2014.4.7)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 3 1
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 3 1】

ねじれは連続的でも不連続的であることができる。ねじれは、中立軸 10 の全体に亘って延在することができ、または、中立軸の一部だけに延在することができる。図示された実施例では、前縁部 4 から点 B を含む断面まで延在するブレード 2 の左部分は、前縁部 4 の 2 つの先端部を接続するセグメントに対するねじれを示さない。このましくは、このセグメントは、

$\overrightarrow{Y_0}$

軸とほぼ一致する。第 1 の部分から後縁部 5 まで延在するブレード 2 の第 2 の部分はねじれている。有利な点として、ブレード 2 の第 1 の部分は、ブレードの長さのおよそ 3 分の 1 に亘って延在する。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 3 2
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 3 2】

ブレードの凹形状は、ブレードの長さの 0 % と 20 % との間、好ましくは、10 % と 15 % との間に含まれることができる空洞部を決定する。